



株主のみなさまへ

# 第83期 報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、まことにありがたく、お礼申し上げます。ここに第83期報告書（平成19年4月1日～平成20年3月31日）をお届けし、第83期の業績の概況、事業の概況、経営方針についてご説明いたします。



取締役社長 豊田 周平

### 業績の概況

連結売上高は、シート、ドアトリムなどの増産により、前期に比べ1,510億円（13.9%）増加の1兆2,337億円になりました。そのうちシート、ドアトリムなどの内装品は前期比1,289億円（13.2%）増加の1兆1,024億円に、フィルター・パワートレイン機器部品はエアフィルターなどの増産により前期に比べ99億円（13.0%）増加の860億円に、繊維・外装品他は前期に比べ121億円（36.9%）増加の452億円となりました。連結経常利益は、製品価格の変動、労務費の増加や為替の影響など、減益要因はあったものの、増産増収の効果、グループあがでの合理化などにより、前期に比べ135億円（26.0%）増加の656億円となりました。連結当期純利益は、中国子会社において特別利益として過年度仕入修正益を計上し、前期に比べ106億円（35.3%）増加の407億円となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として前中間期に比べ6円増配の1株につき15円をお支払いいただきましたが、期末の配当金につきましては、創業90周年記念配当2円を加え前期に比べ5円増配の1株につき20円とし、年間としては前期に比べ11円増配の1株につき35円とさせていただきます。

### 事業の概況

当社グループは自動車用内装システムサプライヤーとして、国内外で提案力の強化を進めています。当期は、トヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカローラ向けの内装品生産を中国・タイ・南アフリカで、カムリ向けの内装品生産をロシアでスタートさせました。その一方で、熟練した匠の技と最新のデジタル技術によって最高の精度を実現した本革張りインストルメントパネルがレクサスLS600hにはじめて採用されたほか、ワンタッチでの折りたたみ、跳ね上げまでが可能なワンタッチスペースアップシート（サードシート）がヴェオクシー・ノアに、LEDの光を天井に反射させ間接光として室内を照らす天井大型

イルミネーションがマークX ジオに採用されるなど、快適性・使いやすさ向上を目指した新技術の開発に取り組みました。このほか自動車用フィルター総合メーカーとして、性能向上や低コスト化に加え、モジュール化、システム化、環境対応、快適性向上など、世の中のニーズにマッチした付加価値の高い新製品の開発と生産に力を注ぎました。グローバル展開としましては、世界各地のお客さまのニーズに応えられるよう生産・供給体制の構築に取り組んできました。平成19年9月にアメリカ ミシシッピ州にシート、ドアトリムなどの生産子会社、トヨタ紡織ミシシッピを、平成19年11月に同じくインディアナ州にシートフレームなどの生産子会社、トヨタ紡織インディアナを設立しました。これらを推進する経営体制として、ミッションを明確にするとともに、各事業に横串をさし、各事業の業務を一体化する目的で「本部制」を敷くとともに、世界の4つの地域が機能的、横断的に活動できるように「グローバル地域統括制」を導入、積極的に推進しています。

### 経営方針

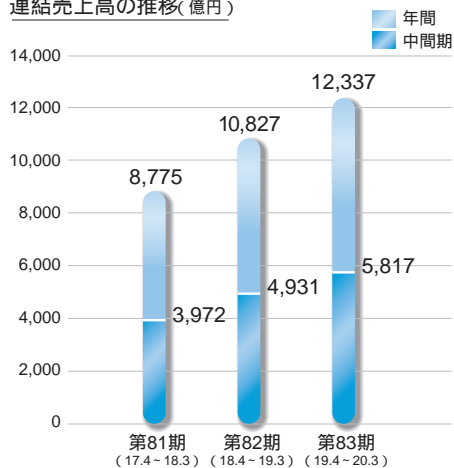
当社グループは、2010年代半ばに「世界トップレベルの内装システムサプライヤー・フィルターメーカーとして、世界各地で活躍できる真のグローバルカンパニーを目指す」ことを目標にしています。その基盤を確立するために、2010年までを「第2の創業期」と位置付け、真のグローバルカンパニーへの「足元固めのための取り組み」と「将来の発展のための先行施策の取り組み」の両面から、実力強化の施策を積極的に推進。2010年度連結売上高1兆4,000億円、経常利益率5%を目指します。株主のみなさまには、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

取締役社長 豊田周平

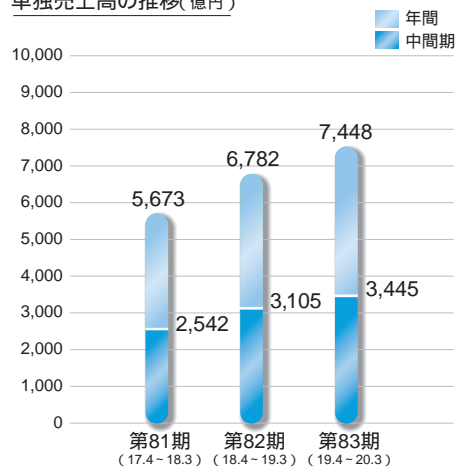
## 連結決算

連結売上高の推移(億円)

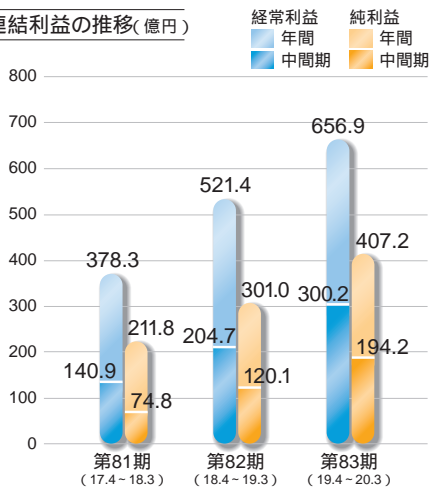


## 単独決算

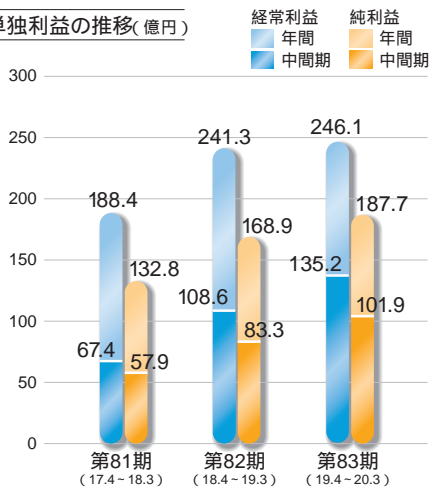
単独売上高の推移(億円)



連結利益の推移(億円)



単独利益の推移(億円)



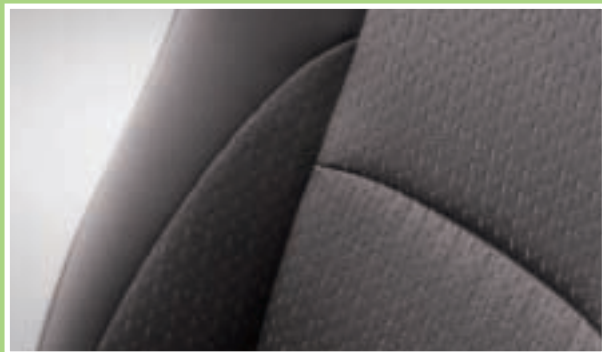


抗ダニアレルゲン  
加工シート表皮



ワンタッチ  
パワースペース  
アップシート

快適な車室環境を実現。世界初のシート。  
積水化学工業(株)、小松精練(株)と共同開発

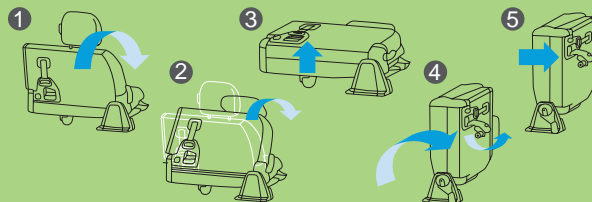


「よりクリーンな車室空間」の実現を目指し、「シートファブリック 1m<sup>2</sup>あたりのダニアレルゲンを1μg以下にし、その効果を5年間保持する」ことを目標に、世界初の抗ダニアレルゲン剤加工シートの開発を行いました。従来のダニアレルゲンを無害化する材料のほとんどが有色性でシートファブリックの意匠に影響を与えるため、意匠への影響が少なく、溶媒に水を使用する抗アレルゲン剤の開発を積水化学工業株式会社に依頼する一方、塗布方法を小松精練株式会社と一緒に検討し、技術開発に取り組みました。ファブリックの表面から抗アレルゲン剤を塗布すると触感が低下すること、裏面からの塗布では必然的に無害化性能が低下してしまうなど、さまざまな困難がありました。抗アレルゲン剤の混合比率と塗布条件をコントロールし、裏面から微粒子分散液をミスト状で均一に塗布する業界初の技術を用いることで、ファブリック内部まで浸透させました。

ボタン操作でシートを格納、スペースアップ。



従来のワンタッチスペースアップシートは一連の作業を手動で行っていました。今回はこれを改良、バックドア横のスイッチを押し続けるだけで、①シートがゆっくり倒れる②その途中でヘッドレストも倒れる③フロアとのロックが解除される④シートが跳ね上がり、ボデーへのロック用ストライカーが起き上がる⑤ボデーにシートがロックされる—という作業をワンタッチで行うことができるようにしました。ボタン操作のみで使用状態からシートを格納し、スペースを拡大できる構造は世界初です。

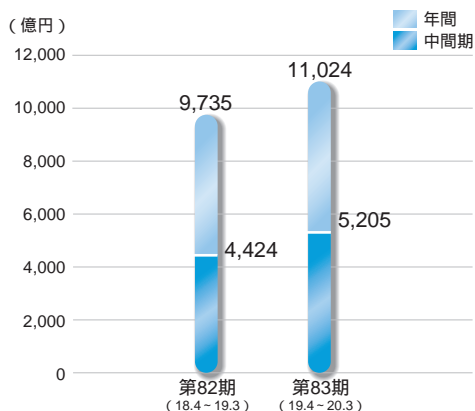


## 内装品事業 コンセプトづくりから設計・生産まで一貫して実施。積極的に新技術開発に取り組む。

当社グループは、車室空間全体のコンセプトづくりから開発・設計・調達・生産までを一貫して行う内装システムサプライヤーとして独自の地位を築いています。単にパーツやモジュールを組み合わせるのではなく、シート、ドアトリム、天井、カーペットなどから構成される車室空間を統合的・効率的にコーディネートされたシステムとしてとらえ、トータル的な美しさや快適性・安全性を追究。さらに製造から廃棄までの各段階における環境負荷の軽減を徹底しています。今期はレクサスLS600hに本革張りインストルメントパネルが、ヴォクシー・ノアにワンタッチスペースアップシートが、マークX ジオに天井大型イルミネーションが採用されるなど、多くの車種に当社の技術が導入されました。今後は繊維・外装品事業と連携し、電子技術の強化と拡大、シート機能部品の開発などに力を注ぎます。

増産による効果に加え、社会ニーズや自動車メーカーからの要請にタイムリーに応えた結果、連結売上高は前期に比べ1,289億円（13.2% 増加の1兆1,024億円となりました。

### 内装品事業の売上高推移

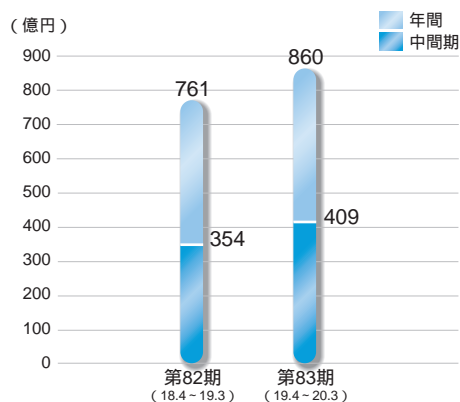


## フィルター・パワートレイン機器部品事業 世界トップの自動車用フィルターメーカー。社会の要請に応える高性能な製品づくりを推進。

当社グループの源流事業である繊維技術を生かして、世界をリードするフィルトレーション技術の向上に努め、高効率、長寿命、低圧力損失を実現する世界トップのフィルター製品を開発・生産しています。エンジン吸気系ではエンジンの高効率化や小型・軽量化に対応した吸気システム製品を、エンジン潤滑系では環境負荷を大幅に低減したエレメント交換型オイルフィルターを、車室内空調系では高性能除塵脱臭フィルターや高性能花粉除去フィルターなどを開発・生産しています。今後は吸気系トータル性能を企画・設計できるシステムメーカーとしての実力を磨くとともに、潤滑系・空調系フィルターの次世代開発を積極的に行い、環境・エネルギー・健康など社会的な要請に応える製品の提供を目指しております。

連結売上高は、エアフィルターの増産などによって、前期に比べ99億円(13.0%)増加の860億円となりました。

### フィルター・パワートレイン機器部品事業の売上高推移



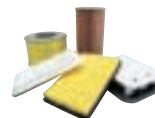
吸気システム製品



オイルフィルター



エアフィルター



キャビンエアフィルター



オートマチックトランス  
ミッションフルード用フィルター



HC吸着フィルター



エアクリナー



インテークマニホールド



エアクリナー  
一体型シリンダーヘッドカバー



ABSコイル

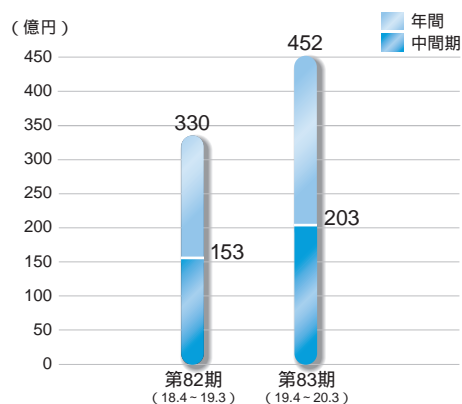


## 繊維・外装品他事業 時代のニーズを先取りして、新規素材の開発、環境にやさしい製品づくりを推進。

時代のニーズを先取りし、より一層の快適性・高機能を追求した製品づくりを進めています。繊維事業では、エアバッグ用布製品をはじめ、シートファブリックや天井表皮材、高機能ユニフォームなどの分野で新規素材の開発を行う一方、環境にやさしい製品づくりを積極的に推進しています。今後は内装品事業との連携を深め、シートファブリックやカーペット、エアバッグ、シートベルトなどの技術開発力の強化、シートファブリックのデザイン力強化を図ります。また、外装品の分野では、高度な安全性が求められる補給用バンパー、剛性に優れコスト競争力を持つフェンダーライナーやエンジンアンダーカバーの生産を行っています。

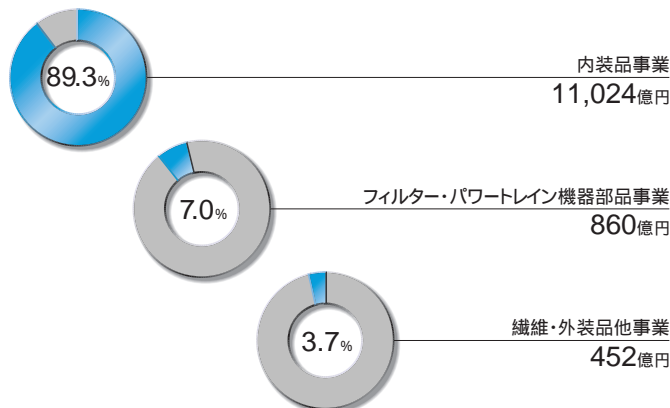
連結売上高は前期に比べ121億円( 36.9% )増加の452億円となりました。

### 繊維・外装品他事業の売上高推移



### 事業別情報

各事業の売上構成 第83期 (19.4 - 20.3)



## 地域別情報

■…………地域統括・開発・営業拠点 ●…………生産拠点



## 海外関係会社 (平成20年3月31日現在)

## アジア

地域統括・開発・営業拠点 / 豊田紡織(中国)有限公司 トヨタ紡織 アジア  
 生産拠点 / 成都豊田紡自動車部有限公司 豊愛 広州 汽車座椅部有限公司 広州桜泰  
 汽車飾件有限公司 昆山豊田紡自動車部有限公司 寧波亞染克汽車部有限公司 寧波豊田  
 紡自動車部有限公司 上海豊田紡自動車部有限公司 天津豊愛汽車座椅部有限公司 天津  
 英泰汽車飾件有限公司 天津華豊汽車裝飾有限公司 天津豊田紡自動車部有限公司 佛山  
 豊田紡織汽車零部件有限公司 新三興股份有限公司 トヨタ紡織 オートモーティブ インディア  
 アパディ バリド オートテック トヨタ紡織 UMW トヨタ紡織 フィリピン ARST(タイランド) SK  
 オート インテリア STB テキスタイルズ インダストリー タイシートベルト トヨタ紡織 フィルトレー  
 ションシステム(タイランド) トヨタ紡織 ゲートウェイ(タイランド) トヨタ紡織 ハイフォン トヨタ  
 紡織 ハノイ 他1社

## 北中南米

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 アメリカ  
 生産拠点 / ARJ マニュファクチュアリング TBDN テネシー トータル インテリア システムズ  
 アメリカ トヨタ紡織 マニュファクチュアリング ケンタッキー トヨタ紡織 インディアナ トヨタ紡織  
 ミシシッピ トリム マスターズ トヨタ紡織 カナダ TB メキシコ マスタートリム デアルゼンチン  
 他14社

## その他

地域統括・開発・営業拠点 / トヨタ紡織 ヨーロッパ  
 生産拠点 / トヨタ紡織 フランス TBMECA ポーランド トヨタ紡織 ロシア トリム リーダー トヨタ  
 紡織トルコ トヨタ紡織 南アフリカ トヨタ紡織 オーストラリア 他1社

## 連結子会社および関連会社 (平成20年3月31日現在)

	子会社	関連会社
日 本	16社(16社)	5社(4社)
北 中 南 米	26社(23社)	1社(1社)
ア ジ ア	24社(23社)	4社(5社)
そ の 他	7社(7社)	2社(2社)

( )内は前期

## 国内関係会社

(平成20年3月31日現在)

子会社 生産会社	その他	関連会社
株式会社KYOEI ARACO	タカテック株式会社	株式会社関東シート製作所
株式会社コベルク	株式会社TBエンジニアリング	株式会社関東シート北上
株式会社TB岩手	TBクリエイティブ株式会社	トヨタ車体精工株式会社
トヨタ紡織九州株式会社	TBコーポレートサービス株式会社	ナルコ株式会社
トヨタ紡織滋賀株式会社	株式会社TBテクノグリーン	ハイニード工業株式会社
ファミック株式会社	株式会社ティービーハイテック	
アラコ九州相知株式会社	TB物流サービス株式会社	
	株式会社テクニカルリンクスデザイン	
	トヨタ紡織ユニフォーム株式会社	



## 地域別の概況

### 日本

自動車業界におきましては、買い替えサイクルの長期化、燃料価格の上昇などによって国内販売は減少しましたが、輸出の増加に伴い国内生産全体では前年を上回りました。

このような状況の中で、匠の技を駆使した本革張りインストルメントパネルがレクサスLS600hにはじめて採用されたほか、ワンタッチで折りたたみ・跳ね上げ可能なワンタッチスペースアップシートがヴェオシー・ノアに採用されるなど、新技術の開発に積極的に取り組みました。国内の売上高は前期に比べ628億円(9.6%)増加の7,182億円になりました。

### 北中南米(アメリカ・カナダ・メキシコ・アルゼンチン)

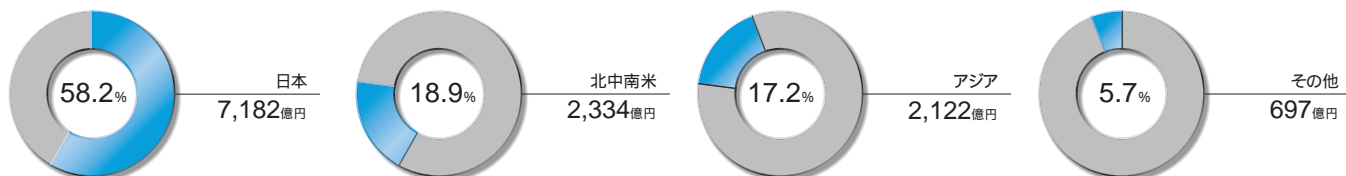
北中南米では、平成19年9月に、ミシシッピ州にシート、ドアトリムなどの内装品の生産子会社であるトヨタ紡織ミシシッピを、平成19年11月にはインディアナ州にシートフレームの生産子会社であるトヨタ紡織インディアナを設立し、効率のよい生産・供給体制の構築を進めています。また、サブプライム問題に端を発した米国経済の減速によって大型車種が減産傾向になる中で、カムリなどの台数が好調に推移したことにより、売上高は前期に比べ32億円(1.4%)増加し、2,334億円になりました。

### アジア(中国・タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・インドなど)

アジアでは、中国国内を中心にクラウン、レイズ(日本名:マークX)など、ほとんどの車種で内装品生産が増加しました。また、タイから中東を中心とした地域への輸出台数も順調に推移しました。トヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカローラが中国、タイで生産開始になるなど、当社製品を採用した車種も増えたことから、売上高は前期に比べ、663億円(45.4%)増加の2,122億円になりました。

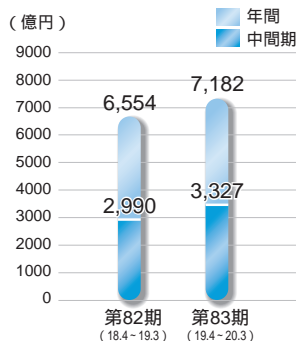
### その他(ベルギー・トルコ・南アフリカ・オーストラリアなど)

その他地域では、オーストラリアのカムリの内装品生産が順調に推移しました。また、南アフリカではトヨタ自動車株式会社のグローバル車種であるカローラ、ロシアではカムリの生産が開始したことにより、順調に売上が拡大しています。売上高は前期に比べ187億円(36.7%)増加し、697億円になりました。

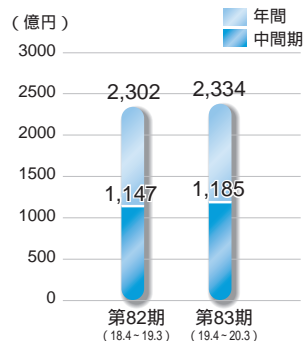


## 売上高の推移

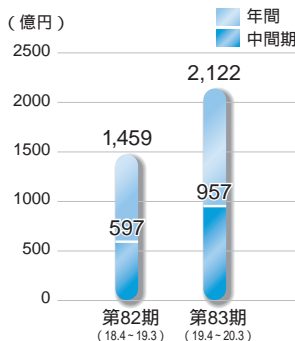
### 国内売上高の推移



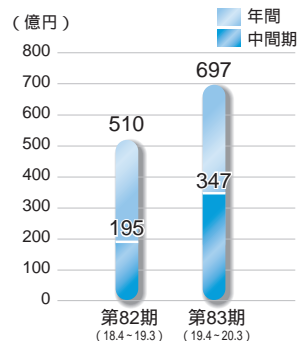
### 北中南米売上高の推移



### アジア売上高の推移



### その他地域の売上高の推移



# 決算概要

## 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当期 (20.3.31現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	315,683	267,325
現金及び預金	70,421	50,918
受取手形及び売掛金	163,639	153,363
有価証券	22,883	10,571
たな卸資産	29,181	26,736
繰延税金資産	6,502	5,616
その他	23,652	20,726
貸倒引当金	598	608
固定資産	211,938	197,422
有形固定資産	175,872	164,723
建物及び構築物	63,330	57,956
機械装置及び運搬具	68,769	69,944
工具器具備品	12,889	13,765
土地	19,739	17,718
建設仮勘定	11,144	5,338
無形固定資産	7,316	3,944
のれん	2,702	
その他	4,614	3,944
投資その他の資産	28,749	28,753
投資有価証券	9,025	12,851
繰延税金資産	15,021	11,890
その他	4,865	4,168
貸倒引当金	163	156
合 計	527,622	464,747

## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期 (19.4.1～20.3.31)	前期 (18.4.1～19.3.31)
売上高	1,233,789	1,082,755
売上原価	1,122,775	995,095
売上総利益	111,013	87,659
販売費及び一般管理費	45,416	39,278
営業利益	65,596	48,381
営業外収益	9,155	8,638
受取利息及び配当金	2,205	1,538
その他の営業外収益	6,949	7,099
営業外費用	9,055	4,876
支払利息	1,958	1,681
その他の営業外費用	7,096	3,195
経常利益	65,696	52,143
特別利益	1,604	1,030
固定資産売却益		99
米国子会社の健康保険料返戻金		930
中国子会社の過年度仕入修正益	1,604	
特別損失		2,283
固定資産売却損		36
米国子会社の過年度仕入修正損		2,246
税金等調整前当期純利益	67,301	50,889
法人税、住民税及び事業税	17,008	15,991
法人税等調整額	2,963	923
少数株主利益	12,535	5,716
当期純利益	40,720	30,105

科目	当期 (20.3.31現在)	前期 (19.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	239,138	236,935
支払手形及び買掛金	164,685	158,226
短期借入金	18,726	22,662
1年内返済予定の長期借入金	162	1,293
未払費用	27,779	27,089
未払法人税等	6,796	7,095
製品保証引当金	2,143	2,280
その他	18,845	18,286
固定負債	61,603	30,015
長期借入金	37,020	6,214
退職給付引当金	20,037	20,008
役員退職慰労引当金	807	755
負ののれん		73
その他		2,962
負債計	300,741	266,950
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	190,417	156,795
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,125	9,104
利益剰余金	174,772	139,664
自己株式	1,880	373
評価・換算差額等	4,061	4,056
その他有価証券評価差額金	1,254	1,937
繰延ヘッジ損益	13	58
為替換算調整勘定	5,330	2,060
新株予約権	155	16
少数株主持分	40,368	36,929
純資産計	226,880	197,797
合 計	527,622	464,747

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期 (19.4.1～20.3.31)	前期 (18.4.1～19.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1 72,371	72,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	2 52,434	45,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	3 16,053	5,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,799	509
現金及び現金同等物の増加額(減少額: )	32,191	20,832
現金及び現金同等物の期首残高	60,089	39,256
現金及び現金同等物の期末残高	92,280	60,089

- 1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。
- 2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。
- 3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済、配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

## 単独貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (20.3.31現在)	前 期 (19.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	167,848	144,867
現金及び預金	10,790	9,187
受取手形	251	5,138
売掛金	104,732	95,378
有価証券	21,928	10,078
製品	1,628	1,731
原材料	3,868	3,500
仕掛品	5,686	3,505
貯蔵品	1,298	1,303
前払費用	957	1,970
繰延税金資産	5,005	4,538
短期貸付金	2,675	286
未収入金	8,532	7,965
その他	543	334
貸倒引当金	51	53
固定資産	165,758	141,836
有形固定資産	80,297	75,424
建物	29,602	27,078
構築物	2,668	2,344
機械装置	26,948	23,926
車両運搬具	522	438
工具器具備品	6,993	8,244
土地	13,469	13,350
建設仮勘定	91	40
無形固定資産	327	320
借地権	269	269
その他	58	50
投資その他の資産	85,134	66,091
投資有価証券	3,528	4,126
関係会社株式・出資金	59,860	40,168
出資金	105	103
長期貸付金	9,574	10,401
長期前払費用	98	657
繰延税金資産	11,524	10,164
その他	572	602
貸倒引当金	130	132
合 計	333,607	286,703

## 単独損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当 期 (19.4.1～20.3.31)	前 期 (18.4.1～19.3.31)
売上高	744,861	678,259
売上原価	703,277	639,147
売上総利益	41,583	39,112
販売費及び一般管理費	22,072	20,095
営業利益	19,510	19,016
営業外収益	9,951	7,138
受取利息及び配当金	7,787	4,493
その他の営業外収益	2,164	2,645
営業外費用	4,851	2,020
支払利息	209	38
その他の営業外費用	4,642	1,982
経常利益	24,610	24,134
特別利益		99
固定資産売却益		99
特別損失		16
固定資産売却損		16
税引前当期純利益	24,610	24,217
法人税、住民税及び事業税	7,211	7,998
法人税等調整額	1,376	672
当期純利益	18,776	16,891

科目	当 期 (20.3.31現在)	前 期 (19.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	151,017	145,055
支払手形	1,027	919
買掛金	118,892	110,814
1年内返済予定の長期借入金		625
未払金	8,864	8,517
未払費用	17,432	17,361
未払法人税等	2,414	4,371
製品保証引当金	1,805	1,928
その他	580	517
固定負債	55,300	25,493
長期借入金	35,000	5,000
退職給付引当金	18,391	18,560
役員退職慰労引当金		728
預り保証金	1,180	1,245
負債計	206,317	170,548
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	125,880	114,202
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,125	9,104
資本準備金	9,013	9,013
その他資本剰余金	112	90
自己株式処分差益	112	90
利益剰余金	110,235	97,071
利益準備金	2,412	2,412
その他利益剰余金	107,823	94,659
特別償却準備金	24	29
固定資産圧縮積立金	907	963
別途積立金	85,913	74,913
繰越利益剰余金	20,978	18,752
自己株式	1,880	373
評価・換算差額等	1,253	1,936
その他有価証券評価差額金	1,253	1,936
新株予約権	155	16
純資産計	127,290	116,154
合 計	333,607	286,703

## 期末配当金について

平成20年6月20日開催の株主総会において、平成20年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金をお支払いします。

1. 期末配当金.....1株につき20円  
(普通配当18円、創業90周年記念配当2円)
2. 効力発生日ならびに支払開始日.....平成20年6月23日

## トピックス

## 第83期の主な出来事

平成19年 4月	骨髄ドナー休暇制度を新設
平成19年 8月	トヨタ紡織ゲートウェイ(タイランド)開所式
平成19年 8月	世界陸上2007大阪観戦ツアーを実施
平成19年 9月	トヨタ紡織ミシシッピ 設立
平成19年10月	トヨタグループ5社共同で事業所周辺に託児所を開設
平成19年11月	トヨタ紡織インディアナ 設立
平成19年12月	米経済誌「フォーブス」から「驚くべき50社」として表彰
平成19年12月	日本サッカー協会からの依頼で、スタジアムシートを製作
平成19年12月	ベトナムの小学校建設 完成セレモニーを開催
平成20年 1月	岐阜県で森林づくり活動スタート
平成20年 1月	「CNBC Asia Business Leaders Awards 2008」で豊田社長が2つの賞を受賞
平成20年 1月	第1回「ケナフ農場訪問・植林体験」ツアーを開催
平成20年 2月	テレビCM放送開始
平成20年 2月	トヨタ紡織ユニフォーム株式会社 設立
平成20年 3月	グローバル研修センターの着工

は社会貢献活動

## 事業展開

国内外で新会社設立、組織再編に着手。  
3拠点で新たに生産開始。

平成19年9月にシート、ドアトリムなどを生産するトヨタ紡織ミシシッピ(アメリカ)を、平成19年11月にシートフレームなどを生産するトヨタ紡織インディアナ(アメリカ)を設立。さらに平成20年2月にはユニフォームの企画・販売を行うトヨタ紡織ユニフォーム株式会社(日本)を設立しました。

その一方で、組織の再編にも着手。平成19年7月にタイの関連会社を子会社とし、タイを中心にしたアセアン地域での開発・生産体制を一層強化するとともに、平成19年12月に中国の統括会社の形態を商業型会社から投資型会社に変更、統括機能を強化しました。

日本でも国内子会社6社の事業再編を行い、事業の効率化と拡大を図りました。また、平成19年6月に株式会社関東シート製作所を関連会社に、平成19年12月に関連会社の株式会社コベルクを子会社にする事で、生産体制の強化を図りました。



トヨタ紡織ミシシッピの敷入れ式

## 新たに設立した会社

国	設立	社名	生産品目	備考
アメリカ	平成19年 9月	トヨタ紡織ミシシッピ	シート、ドアトリム、フロアカーペット	
アメリカ	平成19年11月	トヨタ紡織インディアナ	シートフレーム、シートウレタン	
日本	平成20年 2月	トヨタ紡織ユニフォーム株式会社	ユニフォーム	豊田通商株式会社と株式会社飯島産業との合併

## 生産を開始した会社

国	生産開始	社名	生産品目	備考
中国	平成19年 5月	天津豊愛汽車座椅部作有限公司	シートフレーム、シート用機能部品	アイシン精機株式会社との合併
ロシア	平成19年12月	トヨタ紡織ロシア	シート	豊田通商株式会社との合併
日本	平成20年 1月	トヨタ紡織滋賀株式会社	フィルター・パワートレイン機器部品、補給用ハンバー	

## 人材育成

## グローバル研修センターの建設はじまる。

平成20年3月、グローバル研修センターの建設に着工しました。これは国内外の幹部社員や出向者の教育拠点になるもので、宿泊設備も完備しています。完成は平成20年9月の予定です。



愛知県豊田市に建設予定のグローバル研修センター

## 技術

## 内装システムサプライヤーとして多くの車種を受注。国内外で生産。

当社グループは自動車内装システムサプライヤーとして、国内外でクルマづくりの一翼を担っています。国内ではトヨタ自動車株式会社のレクサスブランドのフラッグシップ車、LS600hほか多数の車種の製品を、海外ではカローラをはじめとする数々の車種の製品を生産しています。

## 国内生産開始車種

トヨタ車：ハイランダー／ヴァンガード／ヴォクシー・ノア／プレミオ・アリオン／イスト／ブレイドマスター／カローラルミオン／マークXシオ／ランドクルーザー200／xB(サイオン)／クラウン  
レクサスブランド：レクサスLS600h

## 海外生産開始車種

トヨタ車：カローラ(中国、南アフリカ、台湾、北米、タイ)／世界戦略車IMVシリーズ(台湾)／ヴィオス(フィリピン、ベトナム、マレーシア、中国)／セコイア(北米)／カムリ(ロシア)  
GM車：タボ・ユーンコン(北米)



レクサスLS600h



トヨタクラウン

## 環境

## 「環境経営度調査」製造業部門で全国12位に。

日本経済新聞社が平成19年12月に実施した「第11回環境経営度調査」の製造業部門で、当社が全国12位になりました。これは各企業へのアンケート結果をもとに企業の環境対策を総合的に評価するもので、国内グループ会社を含めた二酸化炭素排出量の前年度比減などが寄与し、平成18年の40位から大幅にランクアップしました。

## 社会貢献

## 岐阜県での森林づくりをはじめ、幅広い社会貢献活動を推進。

平成20年1月、岐阜県、中津川市と「企業との協働による森林づくり～トヨタ紡織グループ『環境の森』加子母<sup>かしも</sup>における森林づくり～」協定の締結式を行いました。国内での森林づくり活動は当社としてははじめて。森林づくりによって水源かん養や山地災害防止などが期待できるほか、森林整備に伴う間伐材を使った工作・創作教室や地域住民との交流イベントなどの開催を予定しています。このほか、骨髄ドナー休暇制度の新設や、青少年育成・教育を目的に発足したジュニアサポートクラブでの世界陸上2007大阪観戦ツアーの実施、ベトナムでの小学校建設、インドネシアのケナフ農場訪問・植林体験ツアーなど、数多くの社会貢献活動を行いました。

岐阜県での森林づくり



岐阜県、中津川市と協定を締結

ジュニアサポートクラブ



35人の小学生が参加

ベトナムの小学校建設



完成した小学校の前で記念撮影

## トピックス

## スポーツ推進活動

ボート部、女子バスケットボール部、陸上部が好成績を収める。

## ボート部

平成19年6月に行われた全日本ボート選手権において、種目別で6年連続優勝を果たしたのははじめ、数々の大会で優秀な成績を収めました。平成19年8月から9月に開催された世界選手権には、当社の選手2人が日本代表として出場しました。



全日本ボート選手権で優勝

## 女子バスケットボール部

第9回W1リーグで過去最高の2位という結果を得ました。また、小中学生を対象にしたバスケットボールクリニックを各地域で実施しました。



小中学生を対象にテクニクを指導

## 陸上部

平成20年1月に開かれた「ニューイヤー駅伝」で7位になり、3年連続の入賞を果たしました。また、2月に行われた名岐駅伝では2年ぶり5回目の優勝を飾りました。



ニューイヤー駅伝で力走

## 広報活動

初のテレビCM放送開始。

平成20年2月、当社初のテレビCMの放送をスタートしました。CMのテーマは「明日の車室空間をデザインするトヨタ紡織」。トヨタ紡織への期待感や未来感を子どもが描く絵に込め、子どもたちの夢を実現していくトヨタ紡織の姿勢を表現しました。



トヨタ紡織初のテレビCM

## 働く環境の整備

トヨタグループ5社が共同で事業所周辺に託児所を開設。平成19年10月、当社を含めたトヨタグループ5社が、共同で事業所周辺の5か所に託児所「たっちっハウス」を開設。仕事と育児の両立を目指す社員が、安心して仕事に取り組める体制を整えました。



事業所周辺に託児所を開設

## その他

米経済誌「フォーブス」から「驚くべき50社」として表彰。平成19年12月、米経済誌「フォーブス」から「驚くべき50社」として当社が表彰されました。アジアで50億ドル以上の市場資本総利益があることに加え、長期利益性、売上と収益の成長、収益計画や株価上昇などの点で積極的な会社であることが評価されました。

「CNBC Asia Business Leaders Awards 2008」で当社社長が2つの賞を受賞。

平成20年1月、企業の成長性と収益性における手腕や適応性にたけた先見性のあるリーダーを選ぶ「CNBC Asia Business Leaders Awards 2008」で、当社社長の豊田周平が「Asia Talent Management Award 2008」と「Asia Viewers' Choice Award 2008」を受賞しました。

日本サッカー協会からの依頼でスタジアムシートを製作。平成19年12月、日本サッカー協会からの依頼でサッカー専用のベンチシートを製作しました。これは選手や監督が使用するもので、日本代表の試合をはじめ、日本サッカー協会主催の国内主要大会などで使用されています。

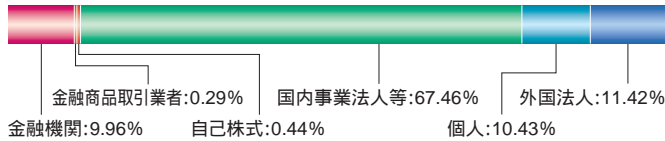
# 会社の概況

## 株式の状況

(平成20年3月31日現在)

株式の総数 ..... 発行可能株式総数 500,000,000株  
 発行済株式の総数 187,665,738株  
 株主数 ..... 11,238名

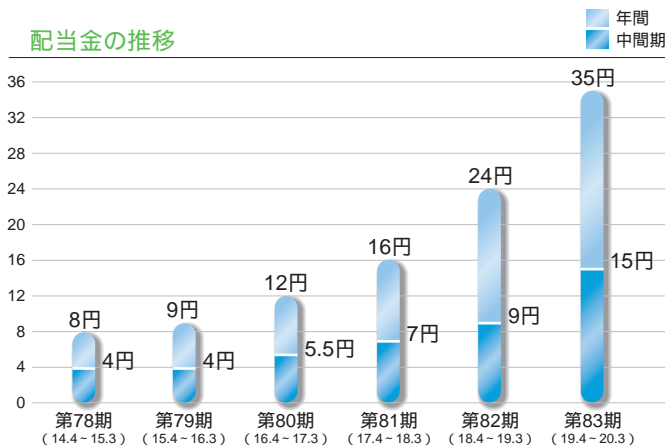
### 所有者別株式分布状況



### 大株主(上位10位)

株主名	株式数
トヨタ自動車株式会社	73,873,995株
東和不動産株式会社	18,346,209株
株式会社デンソー	10,192,100株
株式会社豊田自動織機	7,756,062株
日本発条株式会社	7,220,525株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,979,100株
日本マスター・トラスト信託銀行株式会社	5,532,100株
豊田通商株式会社	4,367,100株
ステートストリート・バンク アンド トラストカンパニー	2,498,013株
資産管理サービス信託銀行株式会社	1,948,000株

## 配当金の推移



## 会社概要

(平成20年3月31日現在)

設 立 ..... 昭和25年5月  
 資 本 金 ..... 8,400百万円  
 従業員数 ..... 7,128名  
 本 社 ..... 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地

## 国内拠点

(平成20年3月31日現在)

刈谷工場	猿投工場	豊橋北工場	東京工場
大口工場	藤岡工場	豊橋南工場	東京営業所
木曾川工場	下山工場	豊橋東工場	大阪営業所
いなべ工場	高岡工場	田原工場	
岐阜工場	堤工場	御殿場工場	

## 役員一覧

(平成20年6月20日現在)

### 取締役および監査役

取締役 会長	浦西 徳一
取締役 社長	豊田 周平
取締役 副社長	野口 満之
取締役 副社長	小野 博祥
取締役 副社長	鳥居 立雄
専務取締役	中川 英夫
専務取締役	川窪 泰夫
専務取締役	栗谷 本強
常務取締役	澤坂 幸昭
常務取締役	古寺 幸耕
常務取締役	飯田 一次
取締役(専務待遇)	飯田 潔隆
取締役(常務待遇)	伊藤 文正
取締役(常務待遇)	桂木 正和
取締役(常務待遇)	山河 栄次
取締役	岡本 一雄
取締役	徳田 寛潔
常勤監査役	今泉 藤正
常勤監査役	内藤 正司
監査役	石川 忠章
監査役	豊田 隆男
監査役	濱田 隆一

### 執行役員

常務執行役員	渡辺 俊充
常務執行役員	原 保信
常務執行役員	酒井 賢
常務執行役員	宮田 徹司
常務執行役員	上田 広
常務執行役員	清水 匠一
常務執行役員	野田 憲
執行役員	山本 直俊
執行役員	藤吉 茂治
執行役員	杉江 保彦
執行役員	杉島 誠
執行役員	大山 義隆
執行役員	滝堀 弘平
執行役員	豊島 淳次
執行役員	山内 得
執行役員	森川 久司
執行役員	吉 靖
執行役員	神原 優

## 株式事務のお取扱いについて

---

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会：毎年6月

配当金のお支払い：期末配当金は毎年3月31日現在の株主(実質株主を含む。)または登録株式質権者に、中間配当金を支払う場合は9月30日現在の株主(実質株主を含む。)または登録株式質権者にお支払いします。

株主名簿管理人：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

(同連絡先郵送先)：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711

同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 本店および全国各支店  
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。  
電話(通話料無料)0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)  
ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告掲載方法：電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。  
<http://www.toyota-boshoku.co.jp/jp/>

本社所在地：〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 電話(0566)23-6611(代表)